

# 令和7年度神奈川県立鶴見支援学校

## 第2回学校運営協議会開催結果

開催日時	令和7年10月20日(月)
開催会場	鶴見支援学校
参加者	9名
会議資料	<p>○令和7年度学校評価（中間評価）</p> <p>○パワーポイント資料</p> <p>○部会資料</p>
委員からの意見等概要	<p>○校長挨拶</p> <p>○参加者挨拶</p> <p>【学校評価部会】</p> <p>令和7年度学校評価(中間評価)について</p> <p>&lt;視点1 教育課程、学習指導&gt;</p> <p>授業のねらい、身につけたい力を学習指導案へ明記することは定着してきた。学習活動の様子を担当間で共有し、ねらいの達成状況を判断している。校内研究では、「教科の特色を踏まえた授業改善」をテーマに、各学年でサブテーマを設け、「身につけたい力」を明確にして授業改善に取り組んだ。今後は学年、学部のつながりを明確にするため、計画の根拠となる教育内容一覧の作成を進めていく。キャリア・パスポートやクラスの係一覧等の掲示物を見て、「自分はこれも頑張りたい。」と生徒が発言する等、見える化した効果が見られた。高等部は作業学習後の日誌、分教室は行事に向け目標達成シートを活用。自分の役割を自覚し、各自主体的に活動に参加できた。</p> <p>&lt;視点2 児童・生徒、指導支援&gt;</p> <p>小学部は本校専門職作成のアセスメントシートを使い、支援を進めている。中学部は昨年度試行したシートの改善に取り組み、3学期にアセスメントを実施する予定。高等部は1年生全員に心理職が太田ステージを実施し、内容をフィードバック、分教室は本校相談担当、心理職との連携。ブロック内専門職巡回の際のミニ研修会で職員の学びにつなげた。実物教材は2学期から貸し出しを行っている。学部や学年ごとのフォルダで学習指導案や行事の実施計画案等を管理しているが、未整理のところは共有フォルダを作成し、皆で活用できるようにしていく。教材データの探しやすさ、効果的な活用が今後の課題。</p> <p>&lt;質疑応答・意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が取り組む姿勢を評価し、「できた」につながった時にとても素晴らしい。「きちんとできた」に対して賞賛する次のやる気につながる。</li> <li>・子どもたちへの称賛は表彰制度を活用。教育の世界では、指導に生かす評価と、記録に残す評価がある。記録に残す評価は成績五段階評価。指導に生かす評価はできないことをどうすればこれを身につけさせられるのかという視点。できないこと等については記録を取り、それをアイデアで渡していくのが大事になる。</li> </ul> <p>&lt;視点3 進路指導・支援について&gt;</p> <p>保護者、職員向けの企業、福祉事業所見学会は、学部を問わず参加した。学校運営協議会主催の進路学習会には、小学部の保護者も参加し、高等部卒業後の生活について積極的に質問する様子が見られた。保護者対象進路学習会は、内容を検討中。</p> <p>&lt;視点4 地域等との協働&gt;</p> <p>進路学習会に向け、ニーズの把握を行っている。共有教材をHPで紹介するため、教材の分類、整理を行っている。巡回相談時には、口頭や写真での説明、助言を行い、学校によってはすぐに指導に取り入れるところもあった。</p> <p>中学部3年と高等部が交流活動を企画。学部内では、作品展示、作業学習等、縦割りでの授業を行った。小学部は低学年、中学年、高学年単位での交流が定例化。高等部は作業学習、校外学習の中で地域交流を実施し、分教室は岸根高校との交流活動、地域の公園清掃や活動への参加を行っている。ボランティアは地域の方が多く校内へ入り、朝の受け入れ、給食の配膳下膳等、活動の広がりがみられる。</p> <p>&lt;視点5 学校管理、学校運営&gt;</p> <p>学期ごとの全校避難訓練は、想定を変えて計画、実施、見直しを行っている。加えてM訓練（未公開、未通知）、シェイクアウト訓練も計画中。鶴見区と補充的避難場所として具体</p>

的な役割の確認、物品の準備等を進めている。鶴見区役所、駒岡小学校との情報伝達訓練や、補足的避難所設置に向けた打合わせを行った。校内の職員で共有すると共に、地域防災の意識を高めていきたい。

働き方改革に向けては、学部長とグループリーダーの集まる会議に管理職も入り改善案を検討している。全体職員会で共有しながら進めている。学校運営協議会の部会では、第三者を交えた外部団体としての役割の元、教員の業務と他者が担える業務について見直しと県への提言ができるよう取り組んでいる。

<質疑応答・意見等>

- ・9月高等部1年生が地域の常倫寺に伺い、厳粛な気持ちでお話を伺う時間を過ごした。地域が教材になっていることがまさに協働。学校運営協議会での話が活動につながった。
- ・自治会の回覧板にボランティア募集のチラシを入れさせてもらっている。集団見守り、登校見守りボランティアと、ありがたいと思っている。感想や困ったことなども含め、関わった方のご意見を教職員に返す等していくことが大切。
- ・災害時のマンホールトイレについて、情報を集めて要望すると良い。
- ・登下校の安全では、防犯のカメラが普及している。映り込みがあった場合は、警察の方で判明するまで捜査をしている。何かあった時はXでも鶴見警察署から発信している。
- ・避難訓練は良いが、教員へのマニュアルの確認、整備はやっていただいた方が良い。学校で寝泊まりする練習を避難訓練に入れていく必要がある。
- ・大曲広場は防災拠点。ここに物資がくる。実際の物資の分配の仕方はわからないが、話の議題に挙げていただくと良いのではないかな。
- ・連絡手段としてのアプリの利用について、県は来年4月から「すぐーる」というのが入る。本校は今はマチコミを使っている。
- ・情報連絡について、保護者、生徒だけでなく、地域の方にも入っていただくと、防災、防犯を含めた情報が地域のいろんな人に知れ渡るので、緊急の事案が起きたときにも、皆さんと話せるという役に立つと思う。
- ・神奈川県はインクルーシブ推進校、サポート校や支援学校と、進路選択が非常に難しい。小学生、中学生、この段階で説明会をやっていくことが大事。

【切れ目ない支援部会・学校設置部会】

#### 地域協働部会

○進路学習会の振り返り

- ・企業就労に向けて話を聞きたいという保護者の方からのお話が多かった。また、障害者雇用について、今後もしっかりと近隣の学校や保護者との連携を持ちながら取り組めていけたら良い。来年度も今年同様2回設けていけたら良いという意見があった。

○地域コーディネーターの役割について

- ・地域とつなげるというのはなかなか難しいが、実際に地域に出ていくこと、明確な情報発信をしていくことが大切。企業の方はいろいろな製品を販売したり、展示をしたりするのに区役所を利用している。今後、そういう区役所等に相談をしながら、コーディネーターの役割をつなげていくのも手段ではないかとのご意見が出た。

#### 地域安全部会

○防災について緊急時対応として、マニュアルを全職員で共有しておくこと

- ・様々な状況を想定すること。横浜市は、避難所運営の様子を収めたビデオがある。VRでの体験もできるので活用するとよい。

○大災害において基本はなにかということ職員一人一人が考えておくこと

- ・基本は命を守ること。想定を超えてくる中ではこの基本を確認しておくということが迅速な対応への近道ではないか。

○働き方改革について

- ・日課表の改定については、課題取り組みで行っているところ。
- ・インシデントを減らすことが大切。

#### 全体を通して

今回、中間評価ということだが、後期は何をすべきなのかという部分がわかりにくかった。中間である以上はこの部分が宿題であるという書きぶりが大事。そうするとコンパクトな「評価」になる。事例を全部上げることは時間がかかってしまう。

○会長挨拶

○校長挨拶

○事務連絡 次回は2月24日（火）9:45～11:45

閉会

